



## 9月、防災の意識を高く！日頃からの備えが大事

今週から9月に入りました。これまでなら2学期の始まりですが、学校ですでに日々の活動が進められています。今日は、1学期の通知表を受け取りました。各教科、役割などの取組を振り返るとともに、次につながるための新たな目標を立て、自分を高めていきましょう。

さて、9月1日は『防災の日』でした。立春から210日を数えるこの日が一番台風の襲来が多い時期とされています。1959年に起きた伊勢湾台風が契機となり、1923年に起きた関東大震災の日に合わせて『防災の日』が制定されました。しかし、これに留まらず9月は、2014年の長野県と岐阜県の境にある御嶽山の噴火、2018年の北海道胆振東部地震、そして昨年は9月9日の台風15号による甚大な被害など、ここ何年かでも大きな災害が発生しています。さらにこの15号の後の19号では東中学校も避難所となり、地域の方々もたくさん避難しました。

災害はいつ起こるかわかりません。台風19号は偶然にも週末、休日にその進路が関東地方に当たったため学校の生活に支障は出ませんでした。いつもそうとは限りません。地震ならなおさらです。そこで、何かのために備えることは『常日頃から』が大事になります。緊急時の持ち出し用品などは身近に用意してすぐに持ち出せるようにしておく。また、緊急時に自宅待機をする場合は、備蓄用品を揃えておき、数日間は生活ができるようにしておくことも必要です。そして、家族とは避難情報や待ち合わせ場所の申し合わせ、連絡手段などを一度、話し合っておくと良いでしょう。

今年は新型コロナウイルスの感染予防についても配慮が必要です。分散避難や避難所を避けて自宅の階上などを利用することも想定し、意識を高く持っておきましょう。災害時の想像ができることが何より必要です。皆さんと、皆さんの家族の命を守ることを、それが一番です！

### 《防災基準 \*令和元年度より改定されました》

- レベル1 避難の意識を持つ
- レベル2 避難の準備をする
- レベル3 高齢者や子どもの避難を開始する
- レベル4 全員の避難を開始する
- レベル5 災害が起きている状況、命を守る

**※防災無線や情報をしっかり聞いて冷静に、安全な行動をとみましょう！！**

## 創立60周年記念事業 東中の歴史紹介「東中今昔物語」掲示中！

このたびの60周年記念に合わせて、実行委員会の方々が東中の今昔物語を作成してくださいました。様々な時代の記録写真を大きくレイアウトしてまとめているので、今の東中と比べてみて、多くの卒業生の足跡を感じ、東中の「今」を大切にしていければと思います。「東中今昔物語」は今年度中、職員室前の廊下に掲示していますので、学校にお越しの際はぜひご覧ください。

60周年記念事業実行委員会の皆様、ありがとうございました。

